

報 告 書

(2 班)

開催日時	平成25年2月4日(月) 7時00分 ~ 8時30分		
開催場所	矢作町 生出コミセン		
出席議員	挨拶 菅野稔 班長		
	司会進行	大坪涼子	
	報告者	佐藤信一	千田勝治
	記録者	鵜浦昌之	大坂 俊 都合欠席
参加人数	10名	市職員1名 東海新報社1名	
主な要望 ・ 提言等	<p>1 駆除したニホンジカを解体して焼却炉に持ち込むわけだが、そうするとシカ一頭につき県から6000円、あるいは市から5000円の補助金がもらえる。しかし、焼却代として2000円から3000円ほどかかる。シカの食害防止、農林業の振興対策として焼却代が無料にならないか。</p> <p>2 旧生出小学校が市立博物館のように活用されている。将来的には周囲の自然博物館を兼ね、小学校を博物館として整備してほしい。</p> <p>3 農免道は交通量が多くなり、事故も増えている。今後、改修予定はないか。</p> <p>4 市役所の再建場所は津波浸水区域よりも高台にお願いしたい。</p> <p>5 仮設住宅に住んでいる方々をまわっていると、「2年で出なければならぬのか」との相談を受けることがある。とくに高齢者が心配しており、見通しはどうなっているのか。</p> <p>6 本市の人口は2万人を割っていると思う。本当に市役所を建てる必要があるのか。現在は国から復興に関する補助金があるが、いつまでももらえるわけではない。今後、10年たつともっと人口が減るだけに、合併を考えてはどうか。</p> <p>7 地区内の道路の除雪が行われていない。もっとガードレールぎりぎりまでやってほしいが、除雪車が来なくなった。</p> <p>8 地区内の道路を拡幅してほしい。「生出は不便」と言われるが、道路が狭いのも要因になっていると思われるだけに、県への要望をお願いしたい。</p> <p>9 市内の保育施設も統廃合を進めるべき。今後は人口が減っていくだけに、小学校だけでなく統廃合するべき。中学校も2校になるのか。</p> <p>10 被災した竹駒保育園を新たに建設すると聞く。施設を修理すれば何かに使えそうだが、補助金の関係で保育施設以外の使用はできないと</p>		

	<p>いうのはおかしいのではないか。</p> <p>11 J R大船渡線のB R Tバス関し、矢作から気仙沼に行くための連絡が悪い。矢作から高田に出て、それから気仙沼に行くことになるが、乗継が悪い。気仙沼と一関間の乗り継ぎは大丈夫か。</p> <p>12 若者が働く場の確保をお願いしたい。</p>
<p>所 感</p>	<p>菅野 稔 雪が降り、また郷土芸能の練習日と重なったこともあり参加者が少なかったが地域の課題解決策等意見・要望もあり有意義な報告会と思う。</p> <p>佐藤信一 シカ対策、市道の整備等これまでの報告会で質問や要望したことについて、しっかりと引継ぎをし、答弁をして欲しい等の意見があった。報告会の反省会の中でこれらのことも含め、しっかりと意見交換をし、次ぎにつなげていく必要があると感じた。</p> <p>大坪涼子 前回出された意見、要望などの回答がないこと、次の報告会までには期間があると不満な発言があった。市民はどのようにしたら議会から回答をもらえるのかと議会報告会の進め方にも検討すべきと感じた。女性の参加もあり、地区のことだけでなく、病院や新しいまちづくり全体のことでの声も聞きたかった。</p> <p>鶴浦昌也 生出地区以外の話題も多く出された。震災からの復興に向けた市全体の課題についての質問や意見があり、議会報告会らしい質疑答弁という議事進行だった。</p> <p>千田勝治 後期計画に関する意見がなく、前回当地区で出された意見に対して、その後の結果の説明が欲しいとの意見が多かった。</p>

陸前高田市議会議長 伊藤明彦 殿

平成25年2月5日

陸前高田市議会議会報告会開催要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成24年度第2回議会報告会2班

班長 菅野 稔 ㊞